

- .....金子能宏（一橋大学経済研究所）  
「第2次世界大戦前の台湾の医療福祉制度と日本との格差」  
.....小島克久（国立社会保障・人口問題研究所）  
「日本における厚生行政の形成と展開：人口と社会保障の関連をめぐって」  
.....杉田菜穂（大阪市立大学）  
「人口認識と対応—日本における20世紀の人口政策の変遷—」  
.....林 玲子（国立社会保障・人口問題研究所）  
（貴志匡博 記）

## 特別講演会（Frans Willekens 教授）

2017年3月24日（金）14:00~16:00, オランダ学際人口研究所（Netherlands Interdisciplinary Demographic Institute）フェローでフローニンゲン大学名誉教授の Frans Willekens 教授による特別講演会が，“Individual-based population analysis: Application to the Democratic People's Republic of Korea”の題目で行われた。北朝鮮の人口データに対する適用に先立ち、トップダウン的なマイクロ・シミュレーション・モデルと、自律性を持つエージェントを多数コンピュータ内に生成するマルチエージェント・モデルが合わせて解説された。しかし今回利用した北朝鮮のデータ（2008年人口センサスと2014年社会経済人口保健調査）は出生率と死亡率のみで、エージェント間の相互作用は含まれず、用いられたのはもっぱら前者のマイクロ・シミュレーションの技法であった。これによって将来人口推計から家族構造に至る多様なアウトプットが得られることが示された。研究所外からも多数の参加があり、活発な質疑応答が行われた。（鈴木 透 記）

## 日本地理学会2017年春季学術大会

日本地理学会2017年春季学術大会が、2017年3月28~30日（30日は巡検のみ）に、筑波大学筑波キャンパス（茨城県つくば市）において開催された。人口関連分野の報告のうち、主なものについてタイトルを紹介する。

- 「取手中央タウンにおける高齢化プロセスと定住志向  
—戸建住宅とマンションの居住者の差異に着目して」.....竹下和希（筑波大・院）  
「非大都市圏における近年のコーホート別人口変動とコーホート規模」  
.....清水昌人（国立社会保障・人口問題研究所）  
「新しい都市—農村指標を用いた地域メッシュ人口の分析  
—日本における反都市化の動向」.....磯田 弦（東北大）  
「災害復興計画における将来人口フレームに関する考察」.....丸山洋平（福井県立大）ほか  
「国勢調査の調査票情報を用いたマイクロ人口統計の信頼性検証」  
.....秋山祐樹（東京大）・仙石裕明（マイクロベース）  
“Gender differences in spatial mobility for work purposes:  
A case of study in the Tokyo metropolitan area”  
.....San Cristobal Gaston Guido（Grad Student, Univ. of Tsukuba）